

第2期 高松市自殺対策計画【概要版】

～「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して～

1 策定の趣旨

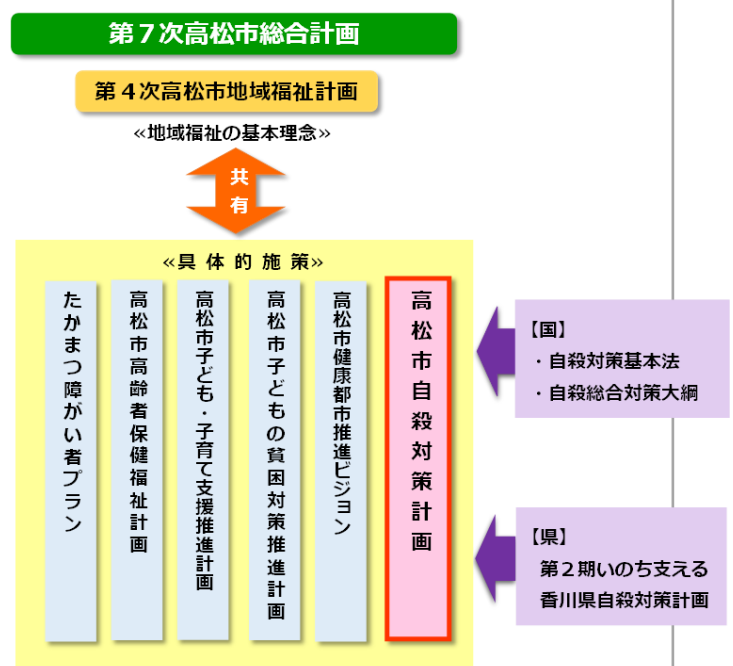
- 自殺はその多くが「追い込まれた末の死」です。
- 自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こり得る危機」です。
- 近年、全国の自殺者数は減少傾向にありましたが、令和2年に増加に転じ、以降増加傾向にあります。
- 本市における自殺者数は、平成23年には100人を超えていましたが、平成29年には52人と大幅に減少しました。しかし、令和元年以降は64人から65人で推移しており、令和4年には67人の方が自ら尊い命を絶たれています。



国の動きや社会環境の変化、これまでの取組の成果と課題などを踏まえ、引き続き自殺対策を総合的に推進していくため、「第2期高松市自殺対策計画」を策定します。

2 計画の位置付け

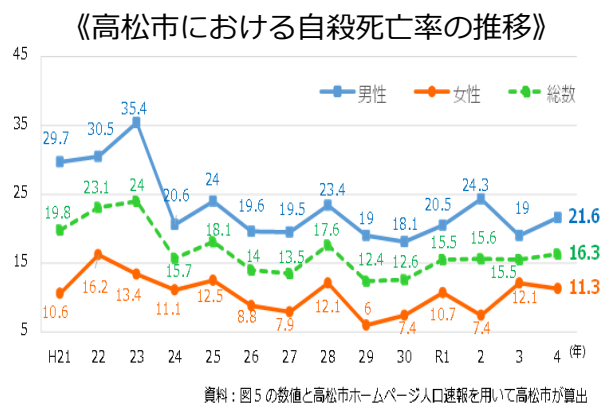
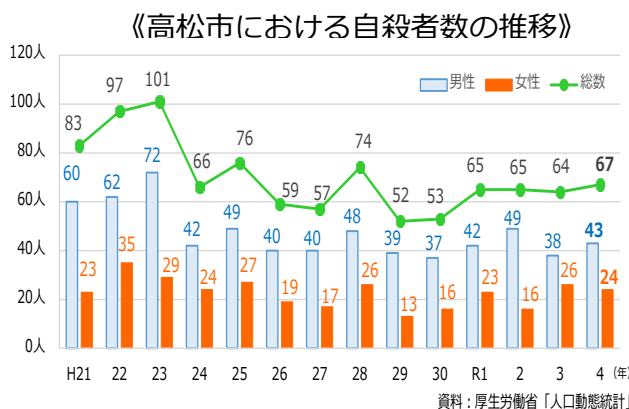
- 自殺対策基本法第13条2項に基づき、国の大綱、及び県の「第2期いのち支える香川県自殺対策計画」、並びに地域の実情を勘案し、「市町村自殺対策計画」として策定します。
- 最上位計画である「第7次高松市総合計画」との整合を図ります。
- 福祉関連計画の上位計画である「高松市地域福祉計画」と基本理念を共有し、「高松市健康都市推進ビジョン」等の関連する計画と連携を図ります。



3 計画の期間

国の大綱、及び県の計画を踏まえ、計画の期間を令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

4 高松市の自殺の現状



- 自殺死亡率：令和4年の自殺死亡率は16.3となっており、これは、全国の17.4より低く、香川県の15.1より高くなっています。
- 性別：男性は「60歳代」が最も多く、女性は「40歳代」が最も多くなっています。（平成25年～令和4年合計）
- 職業：男性は、「被雇用者・勤め人」が最も多く、女性は、「年金・雇用保険等生活者」が最も多くなっています。（平成25年～令和3年合計）
- 原因・動機：不詳を除き、男性、女性とも「健康問題」が最も多く、次いで、男性は「経済・生活問題」、女性は「家庭問題」が多くなっています。（平成25年～令和3年合計）

5 高松市の自殺の特徴

「いのち支える自殺対策推進センター」において、自殺の実態を分析した「地域自殺実態プロファイル2023」によると、本市の自殺の特徴等は以下の通りです。

- 性別・年代等の特性でみた主な特徴として、「男性60歳以上無職同居」、「男性20～39歳有職同居」、「男性40～59歳有職同居」の自殺者数が多くなっています。
- 本市において推奨される重点パッケージ（優先的な課題となり得る施策）として、以下の4項目が挙げられています。

「高齢者」 「生活困窮者」 「勤務・経営」 「子ども・若者」

6 基本理念

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現

7 計画の目標

	現況値 (平成30年～令和4年平均)	目標 (令和6年～令和10年平均)
自殺死亡率 ※人口10万人当たり	15.1	13.0以下

8 評価指標

指標	指標の説明	現況値※ ² (令和5年度)	目標※ ² (令和10年度)
地域の人たち等とのつながりが強いと思う市民の割合	地域の人たち等とのつながりが強いと思う市民の割合	—	令和6年度より4%以上上昇
ゲートキーパーの認知度	「ゲートキーパー」の意味を知っている、又は言葉を聞いたことがある市民の割合	18.0%	28.3%
ストレスを上手に解消できている市民の割合	ストレスを感じた時、十分な解消方法を持ち実行している、又はストレスを感じてもあまり負担になっていない市民の割合	77.3%	81.3%
心理的な苦痛を感じている市民の割合	気分障害や不安障害に相当する、心理的苦痛を感じている市民(K6※ ¹ における10点以上)の割合	11.2%	10.8%

※1 「K6 (ケイ シックス)」は、うつ病や不安障害などをスクリーニングすることを目的として、開発された調査手法です。

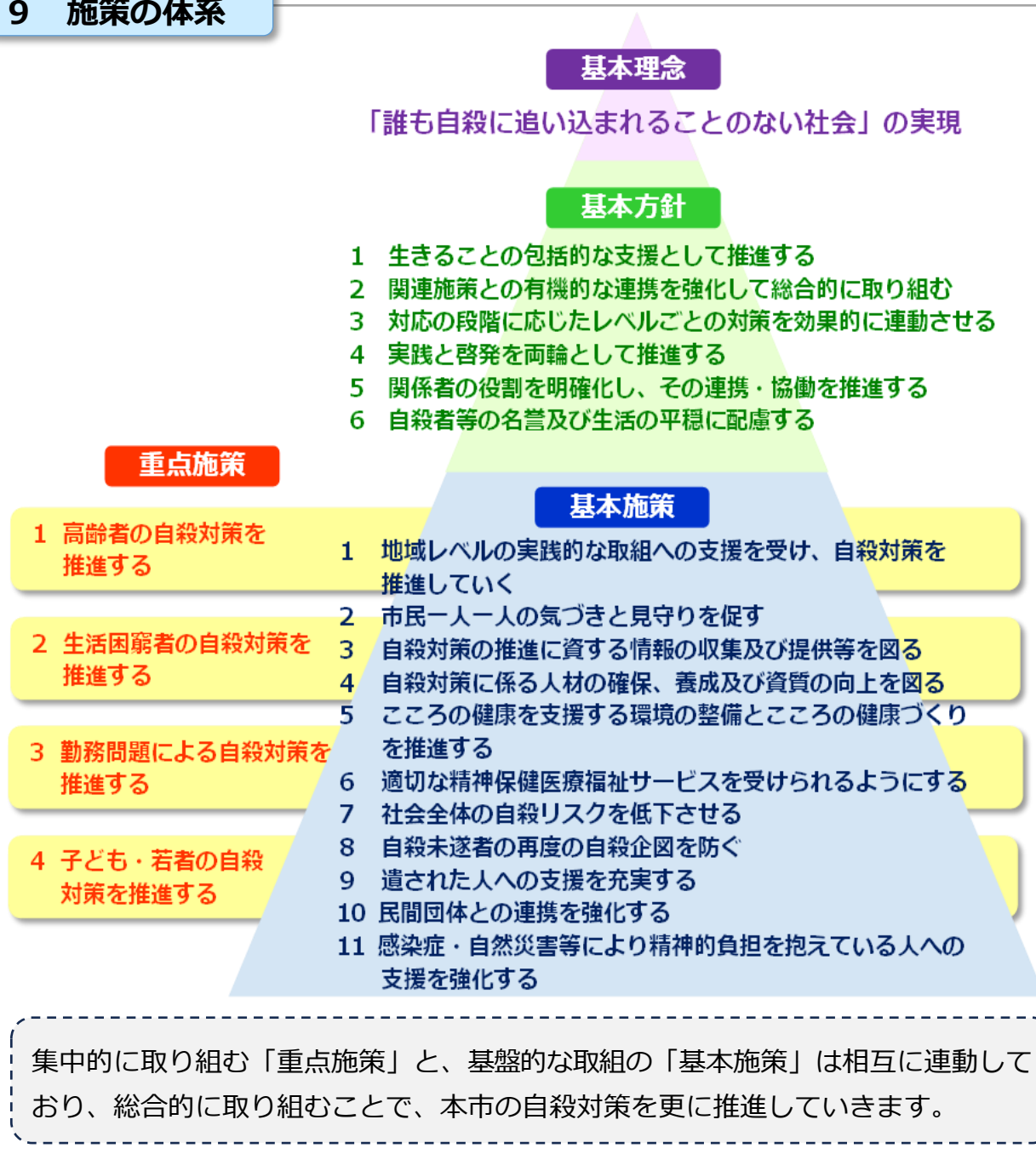
※2 数値の出典は、「高松市民の健康づくりに関する調査」とします。

ゲートキーパーとは

「命の門番」とも位置付けられており、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

特別な研修や資格は必要ありません。誰でもゲートキーパーになることができます。あなたの周りに悩んでいる人がいたら、優しく声をかけてあげてください。

9 施策の体系



10 計画の推進体制

- 「高松市自殺対策推進会議」において、自殺対策についての情報交換や連携を図るとともに、庁内関係課で組織する「高松市自殺対策庁内連絡会」において、庁内各課の連携を図ることにより、自殺対策を総合的に推進します。
- 市民や民間団体、保健・医療・福祉の各分野の関係団体等と緊密な協力・連携を図り、本計画の円滑かつ効果的な推進に努めます。

11 計画の進行管理

- 「高松市自殺対策推進会議」において、自殺対策のPDCAサイクルによるマネジメントを実施し、計画の進捗状況等について点検・評価を行います。